

2021年度 尚綱チャレンジ奨励制度 募集要項

1. 目的： 学生の様々な活動体験を通して社会勉学を奨励することにより、本学学生の自信を深め、大学での学びと実践的活動の良い循環を作り出し、チャレンジ精神と実践力を持った有為な人材を育成することを目的とする。
2. 効果：
 - ・チャレンジを通して、地域や社会が抱える課題に実践的に取り組むことが出来る。
 - ・自身の関心がある社会分野に、大学から経済的支援を得て具体的なアプローチが出来る。
 - ・チャレンジ奨励制度の受賞が就職活動での自己アピールになる。
 - ・正課外活動における意欲向上につながる。
3. 申請の前提：
 - ・通常の単位として認められるものは、チャレンジ奨励の対象としない。
 - ・建学の精神を理解し、他の学生の模範となっている者を対象とする。

4. 賞の種類・評価内容・申請方法等

	Aタイプ (達成型) Achievement Award A賞	Sタイプ (スタート型) Start Up Award S賞
種類	・在学中に正課の勉学の傍らで、特定のチャレンジ活動を行い、優れた成果を残した学生（個人あるいはグループ）に与えるもの	・在学中に正課の勉学の傍らで、特定の活動にチャレンジし、優れた成果が見込まれる企画（個人あるいはグループ）に与えるもの
評価内容	・特定のチャレンジ活動及びその成果	・特定のチャレンジ活動の内容及び実施する意欲と具体的な企画・方法
申請方法	・本人からの申請と学生、教職員からの推薦（自薦・他薦問わず）	
選考方法	・提出した申請書を元に選考委員会による書類と面談の選考 ※ Sタイプのみ中間報告を行い、終了時に成果発表を必ず行う ※ 活動や成果によって、Aタイプとのダブル受賞も可能	
表彰件数	・Aタイプ、Sタイプともに、年間で5～10件を予定	
表彰	・賞状+奨学金（原則として一件当たり上限2万円） ※ 4名以上のグループの場合、別途検討	・奨学金 5万円～15万円の範囲で選考委員会が決定

5. 申請について

- ・申請希望者（団体）は学生生活課より申請書を受け取り記入する。
- ・申請書の他に活動の報告がある場合は申請書に添付をする。
- ・他薦の場合は申請書の他に推薦書の提出が必要。

6. 選考について

- ・選考は尚綱チャレンジ奨励賞選考委員会が行う。
- ・メンバーは学長、副学長（総括担当）、副学長（教学担当）及び学長が指名する2名の教職員で行う。（選考委員会が必要と認める場合は他に意見を聞くことができる。）
- ・選考委員会は申請書、推薦書を元に審査を行った上で申請学生（団体）と面談を行い決定する。

7. 決定

- ・決定は学長が選考委員会の審査を踏まえ、教授会を経てA賞及びS賞の受賞者を決定する。

8. 申請から表彰までのスケジュール（予定）

【Aタイプ 達成型】（2021年度実施の活動が対象です）

- ・告知開始 : 2021年6月10日（木）～
- ・申請期間 : 2022年1月10日（月）～1月31日（月）
- ・審査期間 : 2022年2月初め
- ・結果発表、表彰 : 2022年3月

【Sタイプ スタート型】（2021年度実施の活動が対象です）

- ・告知開始 : 2021年6月10日（木）～
- ・申請期間 : 2021年6月21日（月）～7月15日（木）
- ・審査期間 : 2021年7月
- ・結果発表 : 2021年8月初旬（予定）
- ・中間発表 : 2021年11月
- ・成果発表 : 活動終了時
- ・表彰 : 2022年3月

※Sタイプのみ計画の進行状況について中間報告を行う必要がある。

（中間報告のタイミングについてはチャレンジの内容によって異なる。）

※また活動が終了した時点で結果の報告を選考委員会に行う。

9. 対象となる活動の例

Aタイプ（達成型） Achievement Award A賞	Sタイプ（スタート型） Start Up Award S賞
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に向けて、各種資格取得（英検、TOEIC等）のために講座に参加し、目標に掲げた資格取得を達成した。 ・SDGsが掲げるゴールの一つ「貧困をなくそう」にコミットするため、地域のこども食堂のボランティアに参加をし、貧困の構造や困窮世帯への支援の在り方について学びを得た。 ・他大学の大学祭実行委員会に働きかけ、コロナ禍で大学生が抱える困難や課題について情報交換ができるコラボ企画を立ち上げ、実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で交流の場が減少している学生間のコミュニティー（クラス・学年・部活動間など）を活性化させるための学内コミュニティーペーパーを作成したい。 ・三陸で海洋環境再生プログラムに参加して、SDGsの一つ「海の豊かさを守ろう」について実際的な知識と経験を身に付けたい。

10. 申請に関する問い合わせ

- ・学生生活課（担当：高梨）